

子ども・未来部

子ども政策課

1 子育て施策の総合調整

(1) 三田市子ども審議会

第1回子ども審議会（令和5年7月29日）

- ・ 三田市こども計画策定に関する諮問
- ・ 令和4年度子ども・子育て支援事業計画の取り組み状況及び評価について

イ 第2回子ども審議会（令和5年11月30日）

- ・ 三田市こども計画（第3期三田市子ども・子育て支援事業計画）の策定に向けた市民アンケート調査の実施について
- ・ 市民アンケート調査の設問構成等について

ウ 第3回子ども審議会（令和6年3月21日）

- ・ 三田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査等結果（第1次報告）
- ・ 認定こども園に係る利用定員について

(2) 三田市総合教育会議

第1回三田市総合教育会議（令和5年12月26日）

- ・ 三田市の不登校問題等について
- ・ 三田市立幼稚園再編計画の進捗状況について

2 子どもの居場所づくり（子どもの貧困対策）

三田市子どもの貧困対策推進会議

ア 第1回三田市子どもの貧困対策推進会議（令和5年9月15日）

- ・ 三田市子どもの貧困対策計画、三田市子どもの貧困対策推進プログラムについて
- ・ 令和5年度の取り組み状況について
- ・ 子どもの貧困調査結果について
- ・ その他

イ 第2回三田市子どもの貧困対策推進会議（令和6年2月22日）

- ・ 子ども関連に関する国等の動きについて
- ・ 令和5年度の取り組み状況及び令和6年度の予算状況について
- ・ その他

3 池尻児童館に関すること

主に就学前の乳幼児を対象としたイベントや居場所づくりを通して子どもたちの健全育成に必要な活動を行う。また、子ども会や母親クラブ等の地域組織活動の育成助長を図るための事業を行う

利用回数 446回 利用人数 4,428人 イベント実施回数 169回 イベント利用人数 998人

4 子育て支援事業に関すること

(1) ブックスタートに関すること

9か月児健康診査の際に乳児とその家族に絵本を配布し、子どもの心と言葉の発達やコミュニケーション能力を育むことを支援し、本との出会いや親しむ機会、子育てに役立つ情報等の提供を行い、親子のふれあいのひとときを応援することにより、子どもがすこやかに育ち、保護者が安心して子育てができる環境づくりを推進している。 受診対象数 509人 絵本配布数 519冊

(2) 赤ちゃんの駅に関すること

乳幼児を抱える保護者の子育てを応援する取り組みの一環として、外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換のできる公共施設や民間施設を『赤ちゃんの駅』として登録し、広く周知することで、安心して外出を楽しめる環境づくりを進めている。

民間施設 19 か所、市公共施設 26 か所、県公共施設 2 か所 合計 47 施設

5 多世代交流館

(1) 多世代交流館利用状況

ア 子育て交流ひろば

(単位：人)

1～4 半期		4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合 計
ひろば利用者	子ども	3,204	4,465	3,579	4,788	16,036
	大人	2,812	3,738	3,053	4,121	13,724
	小 計	6,016	8,203	6,632	8,909	29,760
来館者（相談・ボランティア）		420	385	343	346	1,494
子どもルーム		18	0	0	0	18
会議室（1・2）		403	132	361	154	1,050
和 室		30	45	75	137	287
調 理 室		48	67	47	64	226
合 計		6,935	8,832	7,458	9,610	32,835

イ シニア・ユースひろば

1～4 半期		4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合 計
フリースペース	小 学 生	726	2,448	1,248	1,945	6,367
	中 学 生	328	856	412	847	2,443
	高 校 生	479	862	650	839	2,830
	そ の 他	4,899	6,040	5,438	6,222	22,599
小 計		6,432	10,206	7,748	9,853	34,239
多目的フロア	小 学 生	558	742	575	631	2,506
	中 学 生	386	943	792	783	2,904
	高 校 生	398	497	320	379	1,594
	そ の 他	212	338	393	679	1,622
小 計		1,554	2,520	2,080	2,472	8,626
音楽スタジオ※		151	51	65	56	323
合 計		7,986	12,726	9,828	12,325	42,865
子育て交流ひろば、シニア・ユースひろば 総 計		14,921	21,558	17,286	21,935	75,700

※音楽スタジオの利用者は、フリースペースに含まれているため計算から除外した。

(2) 多世代交流館の運営

多世代交流館は、職員とボランティアが協働してさまざまな事業を展開している。

ボランティアは「子育て交流ひろば」77人（うち高校生6人）・「シニア・ユースひろば」17人（うち高校生1人）でひろばごとに登録され、それぞれのひろばにある専門部会に加入し、お互いに調整や応援をしい、事業を企画・運営している。

また、ボランティア同士の連携や職員との意思疎通を図るため、毎月定例会を開催。

ア 子育て交流ひろばボランティアの専門部会

- (ア) 広報部会 「ボランティア通信」等の発行は中止。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為)
- (イ) 事業部会 子育て交流ひろばで実施する事業の企画や運営。
 - a 手作り班(手作りおもちゃの製作) 回数 12回 参加者 88人
 - b 手作り班交流会 回数 1回 参加者 7人
- (ウ) 企画・イベント部会 ボランティア同士の交流会や「リユースひろば」などの企画、運営。

イ シニア・ユースひろばの運営ボランティア

- (ア) フロアボランティア 来館者の見守りや受付。
- (イ) 事業ボランティア シニア・ユースひろばで実施する事業の企画、運営。

ウ ボランティア研修

- (ア) ボランティア養成講座の実施 回数 1回 参加者 19人
- (イ) 研修(初心者、スキルアップ等) 回数 4回 参加者 31人
- (ウ) ボランティア定例会の実施 回数 8回 参加者 55人
- (エ) ボランティア交流会の実施 回数 1回 参加者 7人

(3) 子育て交流ひろばの事業

ア 自由な遊びを通じた子ども、親同士の交流の促進

- (ア) 0歳のひろば(年齢別で交流する場) 回数12回(参加者 大人189人 子ども184人)
- (イ) 1歳のひろば(年齢別で交流する場) 回数11回(参加者 大人134人 子ども137人)
- (ウ) 1・2歳のひろば(年齢別で交流する場) 回数 4回(参加者 大人44人 子ども48人)
- (エ) マタニティひろば(妊娠中の方で交流する場) 回数3回(参加者 大人6人 子ども0人)
- (オ) プレパパママの楽しい子育て 回数2回(参加者 大人8人 子ども3人)
- (カ) すくすく子育て相談 回数10回(参加者 大人66人 子ども71人)
- (キ) おでかけふらっと(市内の公共施設であそびのひろばを開催)
回数10回(参加者 大人85人 子ども97人)
- (ク) おさんぽふらっと(屋外であそぶ楽しさを感じてもらおう)
回数33回(参加者 大人188人 子ども219人)
- (ケ) おさんぽそとはく(屋外であそぶ楽しさを感じてもらおう)
回数 5回(参加者 大人81人 子ども86人)
- (コ) ふらっとお楽しみ会(親子でバルーンアートで遊びます)
回数 1回(参加者 大人62人 子ども69人)
- (サ) 子育てグループ紹介事業 回数 4回(参加者 大人91人 子ども103人)
- (シ) 人形劇 回数 2回(参加者 大人80人 子ども96人)
- (ス) コンサート 回数 1回(参加者 大人48人 子ども47人)

イ 子育てに関する啓発、子育て支援活動の推進

- (ア) 子育て講座や調理講座などの開催
 - a 読み聞かせ 回数24回(参加者 大人252人 子ども279人)
 - b 食育 回数2回(参加者 大人20人 子ども24人)

- c 親対象講座 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止の為）
 - d 一時保育サポーター養成講座 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止の為）
 - e リユースひろば 回数6回（参加者 大人558人 子ども234人）
- (イ) 広報紙の発行
毎月「ふらっ子通信」を作成し、来館者や市民センター等を通して市民に情報提供
- ウ 子育てグループの育成
子育て中の親を支援するため、様々なグループ活動を通して子育ての仲間を増やし情報を交換することによって、社会性を培い、子育ての悩みの解消を図る。
- (ア) 全体の会 親子のふれあい活動、グループ交流会
- (イ) 自主活動グループ 8グループ：親子 52組（内訳 親52人 子ども74人 計126人）
主な活動内容：親子体操、運動会、七夕、クリスマス会、手作り玩具、絵本の読み聞かせ
など親子のふれあい活動
- エ 電話・面接による子育て相談
子育てについての悩みや不安を解消するために、関係機関と連携を図りながら電話や面接による相談を受けている。（相談件数255件）
- (ア) 相談日及び時間 毎週 火～日曜日 9:30～17:30（年末年始・祝日を除く）
- (4) シニア・ユースひろばの事業
次世代を担う青少年の健全な育成を図るとともに、就学前から高齢者までの多世代が、気軽に利用でき、交流し、仲間づくりができることを目的に事業を実施。
- ア 定期事業
- (ア) 卓球無料Day 回数73回 参加者 延べ2,602人
 - (イ) 多世代コーラス 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止の為）
 - (ウ) ちょこっと工房（短時間でできる工作） 回数10回 参加者 延べ146人
- イ Cafe de ふらっと（障害者施設によるドリップコーヒーの提供）
回数10回 参加者163人
- ウ “ふら～っと”ふらっと（日常生活で気になることを学ぶ講座）
回数 4回 参加者57人
- エ 季節事業
- (ア) ふらっとチャレンジ(夏休みの学習支援) 回数 4回 参加者 延べ107人
- オ 企画・参加事業
- (ア) ふらっとギャラリー 出展数31点 回数2回
 - (イ) 岡山くんに聞いてみよっ！（大学生による生活相談）
回数26回 参加者 延べ101人
 - (ウ) いきいき百歳体操お試し会 回数 9回 参加者255人
- カ ボランティア企画
- (ア) 微笑みひろば（ちぎり絵ハガキ、幸せはこぶフクロウ、おめでた福龍、はまぐりの貝びな作り）
回数 4回 参加者40人
 - (イ) 卓球しましょ!! 回数22回 参加者115人
 - (ウ) ボランティア定例会・交流会 回数 6回 参加者42人
- キ 居場所づくり

(ア) にこっとタイム(子どもの学習支援) 回数15回 参加者 延べ37人
ク 会議・研修等

(ア) フラワー地区子ども支援に関する連絡会 回数 1回 参加者 4人

(イ) 「のびやかあーち」視察研修の実施 回数 2回 参加者14人
ケ 広報活動

(ア) パンフレット「シニア・ユースひろば利用案内」を12月に発行・配布
コ ドレミふぁみりー

(ア) さんだファミリーサポートセンター

地域において子育ての応援をしてほしい人と子育ての応援をしたい人が会員となり、相互援助による育児支援活動の実施を通じて、広く子育てに関わる環境の充実を図ることを目的に実施(活動件数2,025件)

会員の種類

a 依頼会員・・・子どもを預かってほしい人、おおむね0歳から小学6年生までの子どもがいる市内在住・在勤、及び宝塚市、伊丹市、川西市、猪名川町在住の人

b 協力会員・・・子どもが好きな人、自宅で子どもを預かることのできる市内在住の人

c 両方会員・・・依頼会員と協力会員をかねてできる人

(令和6年3月31日現在)

(単位：人)

依頼会員	協力会員	両方会員	合計
719	364	89	1172

(イ) 養育支援訪問事業

出産後間もない時期や家庭の事情などにより、育児や家事が困難な状況となっている家庭に対して、「さんだっ子幸せ・夢サポーター」を派遣し、育児や洗濯・料理・掃除など日常に欠かせない家事などを手伝うことにより、地域での子育て支援活動を進める事業を実施。

(利用延べ件数108件)

(ウ) こんにちは赤ちゃん事業

概ね生後4か月までの乳児がいるすべての家庭(新生児訪問利用者を除く)を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会を設定し、子育て支援に関する情報提供を行うことにより、家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的として実施。(訪問件数73件)

6 地域子育て支援センター事業

主に在宅で子育て中の家庭に対する育児支援を行うため、地域での拠点として、湊川短期大学内に開設。(平成25年4月に湊川短期大学附属北摂学園幼稚園内から移設)電話・来所相談、子育て応援団(活動や遊びを通じた子育て仲間づくり支援)、子育てサークル育成支援等を実施。

(令和5年度)

(単位：人)

子育て応援団	みな・とっちひろば	子育てサークル育成サポート	イベント等	年間利用数
687	5,462	189	511	6,849

7 駅前子育て交流ひろば事業

子育て中の親子等が気軽に立ち寄れ、子育てについて相談及び情報提供ができる環境を整え、子育て

て支援活動の推進を図ることを目的として、三田駅前キッピーモール6階（まちづくり協働センター内）に開設。運営はNPO法人に委託。（利用人数5,445人）

8 ウッディ子育て交流ひろば事業

※令和5年10月まで駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろばの講座室で実施

駅前子育て交流ひろばと同様の目的で、ウッディタウン市民センターのプレイルームを活用し、週に平日3日程度開設する。運営はNPO法人等に委託。（利用人数4,943人）

9 三田市子育て支援アプリ（SUNだっこアプリ）配信事業

核家族化の進行や地域のつながりの希薄化などにより、身近に子育てについて相談する相手もなく、子育てに不安や負担を感じる保護者が増加していることから、就学前児童がいる保護者を対象に、きめ細やかな情報をスマートフォンの普及を踏まえて利便性の高いアプリを通じて配信することにより、安心して子育てできる環境づくりを推進している。（配信開始：令和元年11月1日～）

配信対象者：三田市在住の就学前児童がいる保護者及び妊娠中の人

（令和6年3月31日現在登録者 2,189人）

配信内容：妊娠期から小学校入学までの月齢や年齢に応じた子育て情報

10 産後ヘルパー事業

特に心身への負担が大きい産後間もない時期の家事育児を重点的に支援するため、日中に家族の支援が受けられない家庭にヘルパーを派遣する。

利用延べ回数 38回

11 子育て世帯訪問支援事業

家事や育児等に対して不安や負担を抱える家庭等に対し、家事育児等の負担を軽減し家庭や養育環境を整えるため、家事育児を援助するヘルパーを派遣する。

利用延べ回数 39回

12 母子保健事業

子どもの健やかな成長と子育てしやすい環境づくりを目指しながら、こども家庭センター母子保健機能（チャッピーサポートセンター）を核として母子保健事業を一体的に実施した。妊娠・出産・育児を通じて母性、父性を育み、乳幼児が心身ともに健やかに育つことを目的に、母子健康手帳の交付、訪問指導、乳幼児健康診査および精密健診の受診勧奨、各種教室・相談等を行った。実施にあたっては、医療機関・県健康福祉事務所・関係機関などと協力・連携し、母子保健の向上に努めた。

(1) 妊娠届出状況

妊娠届出者数	妊 娠 週 数				
	～満11週	満12～19週	満20～27週	満28週以上	不 詳
477人	461人	10人	2人	3人	1人

(2) 妊婦健康診査費助成事業

助成件数 762件（うち償還払64件）

(3) 乳幼児健康診査実施状況

健康診査名	実施回数	対象者数	受診者数	受診率
4か月児健診	年24回	499人	491人	98.4%
9か月児健診	年24回	536人	517人	96.5%

1歳6か月児健診	年24回	605人	591人	97.7%
3歳児健診	年28回	679人	664人	97.8%
3歳児視聴覚健診	年1回	眼 1人 耳鼻 1人	眼 1人 耳鼻1人	

(4) 歯科健康診査

健康診査名	受診結果				
	O型	A型	B型	C型	計 (A+B+C型)
1歳6か月児健診	591人	0人	0人	0人	0人
3歳児健診	637人	21人	6人	0人	27人

(注) O型 異常なし

A型 上顎前歯部のみ又は臼歯部のみに虫歯のある者

B型 臼歯部及び上顎前歯部に虫歯のある者

C型 臼歯部及び上下顎前歯部すべてに虫歯のある者

(5) ことばと育児の相談会

相談	実施回数	受診者数
1歳6か月児健診後	年12回	26人 (延べ27人)
3歳児健診後		
その他		

(6) 乳幼児健診事後指導教室

親子の健全な発育と発達を目的として、育児不安の強い親子、子どもとの関わり方がわからない親子、子どもの発達上支援が必要と思われる親子を対象に、遊びを中心とした親子教室を実施している。教室では、別の日程で個別の相談を実施し、子どもに対する保護者の理解を深め課題を解決の方向に導き、療育的な関わりが必要な子どもへは、それぞれにあった療育の場の紹介と保護者の受容をすすめるよう支援した。

ア ふれあい教室

(ア) 対象者

1歳6か月児健診の結果、幼児期における発育・発達等に課題がある親と子

(イ) 内容及び実施状況

a 期間：1クール5回（5月～3月）

b 参加者数：20人（延べ84人）

c 内容：自由遊びや設定遊びを通じて親と子及び他児とのふれあい、遊び方を指導

イ 親子相談・発達相談

教室参加者を対象に臨床心理士や医師による個別の相談を実施

(ア) 親子相談（臨床心理士による相談）

(イ) 発達相談（医師・臨床心理士による相談） (ア)(イ)合計 年12回延べ28人

(7) 育児支援教室

ア プレ・パパママ教室

これから親となる夫婦を対象に、沐浴等の育児の指導や相談を実施。

実施回数 年9回 参加延人数 82組

イ 離乳食教室

離乳期の乳幼児を持つ保護者を対象に、発達段階に応じた栄養・歯科講話、質疑応答を実施。対面は保護者による試食も実施。

*感染症予防の観点より、集団離乳食教室を開催できなかったため、令和2年度よりオンライン開催とした。令和5年度からは対面を再開。

(ア) オンライン離乳食教室

実施回数 年12回（もぐもぐ教室6回、かみかみ教室6回）

参加延人数 もぐもぐ教室 17人、かみかみ教室 7人

(イ) 対面離乳食教室

実施回数 年4回

参加延人数 39人

ウ 子育て支援相談

子育て中の保護者のための育児不安等を解消する臨床心理士による個別相談。

子育てからの不安や悩み、子どもに手が出てしまうなどの相談が増えている。

実施回数 年17回 相談延人数 38人

(8) 妊婦・新生児・乳幼児訪問指導

妊娠届出書、出生連絡票を提出し訪問を希望する方、または乳幼児健診の結果訪問を希望する方を対象に訪問指導を実施

	合計	新生児	未熟児	妊産婦	乳児	幼児	その他
訪問延人数	1113人	70人	53人	518人	387人	43人	42人

(9) 乳幼児健康相談

保健師、助産師、栄養士による個別相談を実施

実施回数 年5回 相談延人数 35人

(10) 未熟児養育医療

未熟児で、医師が指定養育医療機関において入院養育が必要と認めた人に対して、健康保険適用後の自己負担分と入院時食事療養費の自己負担額を助成する。

申請件数 18件

(11) 5歳児発達相談

発達には個人差があり、5歳ごろになると生活場面によって見せる行動も様々になってくることから、子育てに悩みを持つ保護者を対象に子どもの特性を理解し児に応じた子育てができるよう支援した。当該年度内に5歳になる児の保護者を対象に案内している。

実施回数 24回 相談人数 59人（延59人）

(12) 不育症治療費助成事業

不育症についての検査及び治療を受けられたご夫婦に対し、医療保険が適用されない検査及び治療費の一部の助成を行う。

申請件数 1件

(13) 不妊治療ペア検査助成事業

夫婦そろって受診した不妊検査に対して医療保険適用外部分の検査費用の助成を行う。

申請件数 10件

(14) 新生児聴覚検査推進助成事業

先天性の聴覚障害を早期に発見し、適切な支援につなぐことを目的に、新生児聴覚検査の必要性の周知・啓発と市民税非課税世帯を対象に受検費用の助成を行う。

申請件数 1件

(15) 出産・子育て応援事業

全妊婦と子育て家庭に寄り添って相談に応じ、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用における負担軽減を図る「経済的支援（出産・子育て応援給付金）」を一体的に実施。

申請件数	出産応援給付金	464人
	子育て応援給付金	430人
	出産子育て応援給付金（遡及分）	99人
	出産給付金（遡及分）	58人

(16) 産婦健康診査費助成事業

助成件数 453件（うち償還払 61件）

(17) 産後ケア事業

心身の不調や育児不安等で支援が必要な産後の母親に対し、休養の機会を提供するとともに心身のケアや育児のサポートを行う。市に住民票がある概ね産後4か月までの赤ちゃんとお母さんを対象に、宿泊・通所・訪問による心身のケアや健康管理を行う「産後ケア」を実施

（宿泊型）

利用実人数 6人 利用日数 22日

（通所型）

【半日】利用実人数 3人 利用日数 6日

【1日】利用実人数 6人 利用日数 23日

（訪問型）

利用実人数 17人 利用日数 39日

(18) 低所得の妊婦の初回産科受診費用助成

低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、その妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回産科受診費用の助成を行う。

申請件数 0件（令和5年10月事業開始）

13 こども家庭センター母子保健機能（チャッピーサポートセンター）

チャッピーサポートセンターは、妊娠・出産・子育ての総合相談窓口として、保健師・栄養士が常駐する「保健センター」（H28年10月開設）、保健師・助産師が常駐する「本庁」（R2年4月開設）に加え、子育て支援員が常駐し、子育て交流ひろば

と一体的に実施する「フラワー（多世代交流館ふらっと）」（R4年11月開設）・「ウッディ（ウッディ市民センター）」（令和5年11月開設）と拡充を図っている。

また、各拠点が特色を持ちながらも、拠点間のサービスの平準化と円滑な連携のためにオンラインを活用している。こども家庭センターとして、児童福祉機能と一体的に妊娠・出産期から子育て期に至る各ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を目指す。

電話窓口相談件数（出張相談含む） 1001件

妊婦面談数 504件

14 感染症予防対策の充実

(1) 定期予防接種

個別接種の状況

種 別		接 種 対 象 者	接種者数
単 独 不 活 化 ポ リ オ	1 期 初 回	生後 3 か月～90ヵ月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	0人
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	0人
4 種 混 合	1 期 初 回	生後 3 か月～90ヵ月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	1,579人
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	582人
3 種 混 合	1 期 初 回	生後 3 か月～90ヵ月に至るまでの間 (20日～56日の間隔で 3 回)	0人 ※平成28年 7月にワクチン 販売終了、 平成30年1 月から再開
	1 期 追 加	1 期 初 回 終 了 後 12 か 月 ～ 18 か 月 (1 回)	
2 種 混 合	2 期	1 1 歳 以 上 1 3 歳 未 満 (1 回)	840人
麻 し ん 風 し ん (M R) 混 合	1 期	生後12か月～24か月に至るまでの間 (1 回)	544人
	2 期	5 歳 ～ 7 歳 未 満 で 小 学 校 就 学 前 一 年 の 間 に 在 る 者 (1 回)	828人
麻 し ん	1 期	MR 1 期 ・ 2 期 の 対 象 者 で 明 ら か に 風 し ん に か か っ た こ と が あ る 又 は 混 合 ワ ク チ ン の 代 わ り に 単 独 ワ ク チ ン で の 接 種 を 保 護 者 が 希 望 し た 者	1 期 : 0人 2 期 : 0人
	2 期		
風 し ん	1 期	MR 1 期 ・ 2 期 の 対 象 者 で 明 ら か に 麻 し ん に か か っ た こ と が あ る 又 は 混 合 ワ ク チ ン の 代 わ り に 単 独 ワ ク チ ン で の 接 種 を 保 護 者 が 希 望 し た 者	1 期 : 0人 2 期 : 0人
	2 期		
水 痘		生後12か月～36か月に至るまでの間 (3 か 月 以 上 の 間 隔 で 2 回)	1,090人

日本脳炎	1 期初回	生後 6 か月～90か月に至るまでの間 (6 日～28日の間隔で 2 回)	1,422人
	1 期追加	生後90か月に至るまでの間 (1 期初回接種後概ね 1 年おいて 1 回)	852人
	2 期	9 歳以上 1 3 歳未満 (1 回)	1,039人
B C G		生後 3 か月～ 6 か月に至るまでの間 (1 回)	475人
ヒブワクチン	初回	生後 2 月以上 5 歳未満 (5 歳の誕生日の前々日まで) (標準的には生後 2 月から開始し 20 日～56 日の間隔で 3 回。生後 7 月～ 1 歳までに開始した場合は 2 回。1 歳以降で開始した場合は 1 回)	1,430人
	追加	初回終了後、 7 月以上 13 月までの間隔で 1 回 (ただし、 1 歳以降で初回接種を行った場合は追加接種を行わない)	540人
小児用肺炎球菌ワクチン	初回	生後 2 月以上 5 歳未満 (5 歳の誕生日の前々日まで) (標準的には生後 2 月から開始し 27 日以上の間隔をおいて 3 回。生後 7 月～ 1 歳までに開始した場合は 2 回。1 歳以降で開始した場合は 1 回)	1,428人
	追加	初回終了後、 60 日以上の間隔をおいて 1 回 (ただし、 2 歳以降で初回接種を行った場合は追加接種を行わない)	540人
B 型肝炎	生後 1 歳に至るまでの間 (標準的には生後 2 か月から開始し 27 日以上の間隔で 2 回。初回接種から 140 日以上経過した後 1 回)		1,417人
子宮頸がん予防ワクチン ※ 1	① 中学 1 年生から高校 1 年生に相当する年齢の女子 ② キャッチアップ接種 (H9.4.2～H19.4.1 生まれ) ※ 1 サーバリックス : 1 回目から 1 か月後、 6 か月後の間隔で 3 回 ※ ガーダシル、シルガード 9 : 1 回目から 2 か月後、 6 か月後の間隔で 3 回		1,395人
ロタウイルスワクチン	生後 6 週から経口接種 ※ ロタリックス : 27 日以上の間隔で 2 回、生後 24 週まで ※ ロタテック : 27 日以上の間隔で 3 回、生後 32 週まで (いずれか一方のワクチンを選択する。)		985人

※ 1 : 平成 25 年 6 月 14 日から積極的な勧奨を差し控えていたが、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたため、令和 3 年 11 月 26 日をもって接種勧奨の差し控えを廃止

子ども家庭課

1 児童手当受給者の状況

(令和6年3月31日現在)

受給者数	対象児童数		
6,227	3歳未満児	小学校 修了前児童	中学生
	938	6,951	2,497

児童手当の額（月額）

対象児童一人につき 3歳未満15,000円

3歳以上小学校修了前10,000円（第3子以降は15,000円）

中学生10,000円

所得制限限度額以上の方は対象児童一人につき 一律5,000円

所得上限限度額以上の方は支給無し（令和4年6月分より）

2 児童扶養手当等受給者の状況

(令和6年3月31日現在)

児童扶養手当受給資格者数		特別児童扶養手当受給者数
受給者数	停止者数	
510	134	237

3 ひとり親家庭支援事業の状況

(令和5年度)

ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業	ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業	ファミリーサポートセンターひとり親家庭利用支援事業	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	ひとり親家庭養育費確保支援事業
1	1	8 (延べ75 カ月)	4 (延べ 254日)	0	7

4 要保護児童対策地域協議会

児童福祉法に基づき、児童虐待等の早期発見・防止をはじめ要保護児童の適切な保護を図るため、各関係機関の連携のもと総合的な要保護児童対策を推進するため平成18年4月に設置し、平成24年7月1日に国の指針に基づき対象を拡大し、名称変更したもの。（令和5年度は、代表者会1回、実務者会議6回、個別ケース検討会30回開催）

5 家庭児童相談室の相談受付状況

(令和5年4月～令和6年3月)

区 分	養護相談		保 健	障 害	非行相談		育成相談				そ の 他	合 計
	児 童 虐 待	そ の 他			ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等	性 格 行 動	不 登 校	適 性	し っ け 育 児 ・		
相談人数	726	321	2	139	8	8	32	28	0	19	4	1,287

子ども育成課

1 子ども育成課

(1) 放課後児童クラブ入所児童数（令和6年3月現在）

（単位：人）

児童クラブ名	入所児童数	児童クラブ名	入所児童数
三輪児童クラブ	31	三田第4児童クラブ	31
三輪第2児童クラブ	31	富士児童クラブ	17
三輪第3児童クラブ	20	富士第2児童クラブ	19
狭間児童クラブ	34	けやき台児童クラブ	35
あかしあ台児童クラブ	34	けやき台第2児童クラブ	26
あかしあ台第2児童クラブ	32	けやき台第3児童クラブ	27
弥生児童クラブ	11	ゆりのき台児童クラブ	30
つつじが丘児童クラブ	29	ゆりのき台第2児童クラブ	37
武庫児童クラブ	26	ゆりのき台第3児童クラブ	40
武庫第2児童クラブ	21	ゆりのき台第4児童クラブ	37
武庫第3児童クラブ	28	広野児童クラブ	24
すずかけ台児童クラブ	25	広野第2児童クラブ	23
すずかけ台第2児童クラブ	27	松が丘児童クラブ	39
三田児童クラブ	34	学園児童クラブ	35
三田第2児童クラブ	32	高平児童クラブ	19
三田第3児童クラブ	25		
合 計		879	

(2) 放課後子ども教室推進事業

小学校区を単位として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・体験活動を手段として子どもと大人が「集う」「交流する」活動を推進することを目的として実施。

- ア 実施校区数 16小学校区
- イ 実施日数 1,377日
- ウ 参加児童数 22,444人

(3) こうみん未来塾の開催

科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概を持つ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成のため、地域や教育機関・民間企業との協働により実施。科学実験や自然体験などを中心とした、本物に触れる機会を提供できるプログラムを市が用意し、地域とともに実施。

- ア こうみん未来塾＜地域が主役コース＞ 実施回数38回 参加者数 1,035人
- イ こうみん未来塾＜地域でお試しコース＞ 実施回数19回 参加者数 843人
- ウ 全市版こうみん未来塾＜みんなで体験コース＞ 実施回数33回 参加者数 1,094人

- エ こうみん未来塾<学校向けプログラム> 実施回数24回 参加者数 1,711人
 オ 全市版<サイエンスフェスティバル> 実施回数 1回 参加者数 2,267人

(4) 学校支援ボランティア事業

保護者及び地域の方々にボランティアとして小中学校を支援する活動を推進し、学校の教育活動に地域の教育力を活かすとともに、学校及び地域の活性化を図ることを目的として実施。

<活動概要>

- ア 学校とボランティアの間を調整するコーディネーターを配置し、学校・ボランティア両者の希望にかなうコーディネートを行う。
 イ 市内29校が当事業のボランティアを活用。
 ウ 計4,984日（年間延べ日数）のボランティア活動を行う。参加ボランティアは、延べ30,277人。

(5) 家庭教育充実事業

家庭教育学級	市内各小学校単位の学級を開設し、各小学校PTAが主体となり学校教育と連携を取りながら、保護者たちが話し合い共に学ぶ機会とする。		
家庭教育学級合同運営委員会	5月31日(水)	40名	① 運営委員への趣旨説明 ② 補助金説明 ③ 質疑応答
	2月7日(水)	28名	① 今年度の活動報告と来年度の方向性 ② 補助金の報告書提出について ③ 異性間コミュニケーション協会 夫婦と親子のための性教育インストラクター 田畑梨沙さん出前講座 「親子のための性教育 伝えよう 子どもの誕生ストーリー ～そして、今日から始めてほしいこと～」
	7月26日(水)	96名	【親子講座】 「片づけ力は自立力！親子で学ぶ整理収納」 講師：おうちじかん 代表 野間 和美さん
	12月13日(水)	9名	【親講座】「親子の絆を深くする！タッチケア講座」 講師：アロマとタッチ TRE 代表 森山 智美さん

2 青少年育成センター

(1) 非行防止事業

青少年の非行の未然防止と早期発見のため、市青少年補導員が各地域の状況に応じた街頭補導を展開し、青少年の問題行動等の発生に対して適切な指導や注意を行い、速やかな措置を講じるため、警察・学校・PTA等関係機関・団体と連携を密にしながら、非行防止のネットワークづくりを行っている。

ア 補導活動状況（平成5年4月～令和6年3月）

補導活動総回数	794回	活動延人員	2,969人
---------	------	-------	--------

活動種別	登下校指導	登校のみ	166回	269人	(その他の内容) 補導活動に関する 連絡協議会等への参 加
		下校のみ	50回	145人	
		登下校	0回	0人	
	街頭補導	一般補導	539回	2,318人	
		深夜補導	2回	17人	
	環境浄化活動		0回	0人	
	たまり場・危険箇所点検		17回	51人	
	その他		20回	169人	

イ 青少年補導員の構成（定数：250名以下）（令和6年3月31日現在）

（ア）一般補導員 162名

（イ）各小・中・高等学校生徒指導担当教諭等 38名

ウ 青少年補導委員会の組織

会長1名・副会長5名・理事（ブロック長）9名・班長27名

(2) 有害環境浄化事業

青少年の健全育成を阻害するおそれのある社会環境を浄化することを目的として、学校、地域、関係機関団体の協力を得て、青少年のたまり場の巡回、有害図書類販売店等に対する適正な販売等の協力要請、指導などの活動を展開した。

ア 環境浄化パトロール

イ 「少年を守る店」事業の推進

ウ 有害図書等の販売店等の実態調査

エ 「白ポスト」による有害図書・雑誌・DVD等の回収、処分

(3) 青少年相談事業

青少年が日頃いんでいる、友だち関係・学校生活・家庭家族・進路・性の問題などの悩みについて、本人や家族などから電話、面接による相談を受け、必要な場合には学校や関係機関と連絡をとりながら、悩みが深刻化するのを防ぐとともに、その解決のアドバイスをしている。

◇相談日及び時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00（年末年始・祝日を除く）

ア 青少年相談受理状況（令和5年4月～令和6年3月）（単位：件）

相談対象者	幼 児	小学生	中学生	高校生	その他	合 計	備 考
合 計	0	34	106	31	28	199	面接90 電話102 メール7

(4) 子どもの安全対策事業

登下校等の児童生徒の安全を確保するため、「こども110番の家」の登録推進とともに、地域の防犯意識を高めるため啓発などを行う。

ア 「さんだっこ110番のくるま」	公用車	95台
イ 「こども110番の家」のプレート等掲示	登 録	767件

(5) 不登校・ひきこもりへの支援

ア 不登校・引きこもり等対策推進会議

(ア) 第1回不登校・引きこもり等対策推進会議（令和6年2月22日）

- ・令和5年度の取り組み状況について
- ・令和6年度の取り組み予定
- ・各所管からの報告と情報共有

イ 不登校保護者支援の会（SUNだっこカフェ）

(イ) 第1回SUNだっこカフェ（令和5年7月29日）

- ・座談会を2時間実施
- ・参加者：3名

(イ) 第2回SUNだっこカフェ（令和5年11月26日）

- ・座談会を2時間実施
- ・参加者：10名

(イ) 第3回SUNだっこカフェ（令和6年3月3日）

- ・座談会を2時間実施
- ・参加者：8名

3 丹波少年自然の家

(1) 丹波少年自然の家事務組合議会定例会（令和3年8月27日）

(2) 丹波少年自然の家事務組合議会定例会（令和4年2月7日）

(3) 丹波少年自然の家事務組合議会臨時会（令和4年4月19日）

(4) 丹波少年自然の家事務組合議会定例会（令和4年8月15日）

(5) 丹波少年自然の家事務組合議会定例会（令和5年2月6日）

(6) 丹波少年自然の家事務組合議会定例会（令和5年8月4日）

(7) 丹波少年自然の家事務組合議会定例会（令和6年2月5日）

保育振興課

1 保育施設の入所児童数（令和6年4月1日現在）

(1) 認可保育所（10施設）

【人】

施設名	所在地	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
三田市立 三田保育所	天神2丁目3番 3号	120	3	14	17	24	22 (1)	17	97 (1)
三田こぼと 保育園	屋敷町7番25 号	60	3	11	12	14	15 (1)	14	69 (1)
光の子保育園	あかしあ台5 丁目30番地1	120	6	17	19	18	25	27	112
あいの保育園	下相野1904番 地	110	4	13 (1)	20	20 (1)	21	22	100 (2)
あさひ若草 ナースリー	あかしあ台4 丁目14番地4	45	3	17	17 (2)	/	/	/	37 (2)
キッズポート 保育園	すずかけ台2 丁目16番地	70	2	12 (2)	14	15 (2)	14 (1)	17 (2)	74 (7)
よこやま 保育園	南が丘2丁目 9番5号	70	2	9 (1)	12 (1)	16	17	15 (3)	71 (5)
さんだのもり 保育園	高次1丁目1番 4号	60	5	10	12	12 (1)	13	14	66 (1)
三田 虹の子 保育園	駅前町3番15 号102	90	1	15	15	17	18	15	81
ほしのさと 保育園	ゆりのき台 2丁目3番1	120	3	18	18	22	24	20	105
合 計		865	32	136 (4)	156 (3)	158 (4)	169 (3)	161 (5)	812 (19)

人数は他市町より受託した児童を含む入所児童数、()内は他市町より受託した児童数

(2) 小規模保育施設（6施設）

【人】

施設名	所在地	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
こぐまプリ スクール三田園	駅前町11番1号 ハイツ三田1階	19	1	6	9	/	/	/	16
やよいキッズ	駅前町1番38号 三田NKビル5階	19	3	7	6	/	/	/	16
ミルクたんぽ ぽ園	西山1丁目13番 6号	19	3	6	5	/	/	/	14
ぽるとこども 園	すずかけ台2丁 目3番地1	19	1	7	9	/	/	/	17

けやきキッズ ガーデン	あかしあ台5丁 目32番地1	19	0	3	13				16
コスモチャルト [®] 保育 園三田園	すずかけ台2丁 目3番地1	19	0	6	7				13
合 計		114	8	35	49				92

人数は他市町より受託した児童を含む入所児童数、()内は他市町より受託した児童数

(3) 認定こども園（保育認定児童のみ）（幼稚園型10施設、幼保連携型3施設） 【人】

施設名	所在地	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
三田市立 みつば幼稚園	上井沢310	15				5	6	4	15
北摂第一 幼稚園	武庫が丘4丁 目10番地	110		8	16	24 (2)	25 (2)	34 (2)	107 (6)
北摂中央 幼稚園	すずかけ台2 丁目16番地	80				29 (2)	30	34	93 (2)
ふじ幼稚園	富士が丘2丁 目16番地	73		4	16 (4)	16 (2)	19 (1)	23 (3)	78 (10)
三田あさひ 幼稚園	あかしあ台4 丁目21番地	25				3	10 (1)	10	23 (1)
三田さち 幼稚園	狭間が丘4丁 目5番地	60		1	5	7	15 (1)	24	52 (1)
三田つつじが丘 認定こども園	つつじが丘北 2丁目26番地	87	0	8	12 (3)	17	17 (1)	22 (1)	76 (5)
三田けやき台 認定こども園	けやき台3丁 目64番地, 74 番地	140	6 (1)	21 (1)	24	38 (1)	32	36	157 (3)
北摂学園 幼稚園	学園7丁目1番 地3	45				11	21	26 (1)	58 (1)
やよい幼稚園	弥生が丘5丁 目13番地	50			9	13 (1)	17	13 (1)	52 (2)
ゆうかりフレ ンズ	狭間が丘2丁 目20番地	120	5	16 (1)	21 (2)	20 (2)	23 (1)	17	102 (6)
若草幼稚舎	けやき台5丁 目24番地	120	5	24	24	30	21	24 (1)	128 (1)
親和幼稚園	ゆりのき台5 丁目43	57			6 (1)	6 (1)	14	14	40 (2)
合 計		982	16 (1)	82 (2)	133 (10)	219 (11)	250 (7)	281 (9)	981 (40)

人数は他市町より受託した児童を含む入所児童数、()内は他市町より受託した児童数

2 待機児童対策（各年度4月1日時点）

(1) 待機児童数

【人】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
令和2年度	1	34	14	3	4	1	57
令和3年度	0	12	16	7	2	2	39
令和4年度	0	3	2	0	1	0	6
令和5年度	0	2	0	0	0	0	2
令和6年度	0	0	2	0	0	0	2

(2) 利用定員拡充の状況

		3号認定			2号認定			合計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
H27	認定こども園(8施設)	18	37	75	102	110	115	457
H28	小規模保育施設(3施設)	9	22	26				57
	さんだのもり保育園(11月)	6	9	10	11	12	12	60
H29	三田 虹の子保育園	12	12	15	17	17	17	90
	小規模保育施設(2施設)	6	14	18				38
	ふじ幼稚園(認定こども園)		13	15	15	15	15	73
H30	北摂第一幼稚園(認定こども園)		6	2				8
R1	コスモチャイルド保育園三田園	2	8	9				19
R2	親和幼稚園(認定こども園)			12	15	15	15	57
R4	ほしのさと保育園	9	18	18	25	25	25	120
	北摂中央幼稚園(利用定員の拡充)				5	10	5	20
	北摂学園幼稚園(利用定員の拡充)				5	5	5	15
R5	北摂第一幼稚園(利用定員の拡充)				5	12	3	20
合 計		62	139	200	200	221	212	1,034

(3) その他の対策

- ・平成29年10月送迎保育支援事業を開始
 (利用者数) 3歳児2人、4歳児2人、5歳児5人 合計9人 (令和6年4月1日現在)
- ・認可外施設の活用 2施設
 (みどり保育園、YSE International School)
- ・企業主導型保育事業所の活用 4施設
 (ちびっこランドさんだ南が丘園、ミルクひまわり園、KID ACADEMY NURSERY三田園、モーモーランドウッドィタウン園)

3 一時預かり事業

保護者の就労形態の多様化、急病や育児疲れ解消などのため、一時的に保育が必要となる就学前児童を保育園・認定こども園で一時的に預かります。(満1歳以上の児童が対象)

実施園4施設(あいの保育園、さんだのもり保育園、三田けやき台認定こども園、ほしのさと保育園)

(令和5年度)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	利用延件数
41	1,573	1,178	222	4	0	3,018

4 病児・病後児保育事業

病気やけがの治療中または回復期などに、家庭や集団での保育が困難なお子さんを一時的にお預かりする事業です。

(令和5年3月、市直営の病児保育施設「ふらっと・クローバー」を開設)

(令和5年度)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生	年間 利用件数
1	24	11	22	2	20	5	85

幼児教育振興課

1 市立幼稚園の執行状況（但し、人件費を含み施設工事・営繕を除く）

区 分	決 算 額 (千円)		摘 要
幼稚園 10園	303,370	37,421	幼稚園管理費（消耗品、光熱水費等、教材備品等）
		265,949	人件費（賃金、共済費等）

2 市立幼稚園教職員に関すること

(1) 職員数(令和6年3月31日現在) (単位：人)

区 分	正規職員	会計年度任用職員	合 計
幼稚園	25	27	52

3 市立幼稚園施設等の概要

(1) 敷地及び園舎の面積(令和6年3月31日現在) (単位：㎡)

幼稚園名	敷地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)		
		鉄筋鉄骨	木造	計
三田幼稚園	4,584	1,019		1,019
三輪幼稚園	3,579	1,081		1,081
志手原幼稚園	2,630	541		541
小野幼稚園	2,755	497		497
母子幼稚園		148		148
広野幼稚園	4,972	725		725
本庄幼稚園	2,805	565		565
藍幼稚園	3,949	507		507
松が丘幼稚園	4,709	807		807
高平幼稚園	2,953	525		525
合 計	33,349	6,431		6,431

※母子幼稚園の敷地の面積は、母子小学校に含む。

4 市立幼稚園教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

○研修等

研修・講座名	年間実施回数	参加者数 (延人数)
市内幼稚園連携推進事業合同研修会	2回	108人

(2) 指定研究の推進

テーマに基づいた研究の活性化を図るための指導・支援

○兵庫県教育委員会指定研究、市特別指定研究園・・・1園

一人、一人の育ちと学びをつなぐ ～学びの芽生えを育む教師の援助のあり方を探る～	三輪幼稚園
--	-------

(3) 研修事業

幼稚園研修、保育実践研究集作成

5 市立幼稚園教育内容に関すること

(1) 幼稚園元気アップ共育事業

・・・各幼稚園が教育目標の実現をめざすため、地域人材や外部人材を活用した栽培活動などの体験活動の充実やオープンスクール等を通じて園の取り組みを発信することで、活力にあふれた地域に信頼される園づくりを推進する。

(2) 学校評議員制度

・・・開かれた園づくりと園の自主的・自律的な教育活動を推進するため、各園に5名以内の学校評議員を置く。

6 遠距離通園費補助

三田市立幼稚園の幼児について、通園が著しく困難である者に対して通園費を補助し、幼稚園教育の円滑な運営と保護者負担の軽減を図る。

区分	園数	人数	補助金額	備考
幼稚園	2園	5人	174,960円	全額補助

7 市立幼稚園園児数(令和6年3月31日現在)

(単位：人)

幼稚園名	学級数	園児数			計
		3歳	4歳	5歳	
三田幼稚園	3	16	13	26	55
三輪幼稚園	3	12	18	14	44
志手原幼稚園	1		8	5	13
広野幼稚園	2		10	15	25
本庄幼稚園	1		2	1	3
小野幼稚園	1		0	6	6
母子幼稚園	0		0	0	0
藍幼稚園	1		4	2	6
松が丘幼稚園	2	10	4	7	21
高平幼稚園	1		7	4	11
合計	15	38	66	80	184